

発行日・平成31年4月10日

発行元・服部農園有限会社

編集長・女将さん/服部都史子

## 2019年入社式

新元号が発表されましたね。「令和」元年となる今年度、服部農園は新たに2名の仲間を迎えスタートしました。現在は農園の社屋を構え、直売所を持ち、会社らしくなった服部農園ですが、ほんの数年前までは事務所は自宅の一室、ユニフォームなし、タイムカードなし、繁忙期は休みなし。今だったらブラック企業と言われていたかもしれません。今年度入社式ではこれまでの農園の歩みと、これから私たちが描く未来地図をお話ししました。



**農**業大学校出身の2人。米、麦、大豆の栽培を専門に学ぶ作物課の卒業生で、オッチと近ちゃんの後輩です。もしかしたら知識面においては農園メンバーより豊富かもしれませんね。(汗)

### 大須賀 康徳 (オスカ ヤスリ)

あだ名「すかちゃん」

岡崎市出身

小顔で8頭身(羨ましい…)

今年の目標

「仕事をおぼえる」

「大須賀に任せれば大丈夫」と早く言ってもらえるように頑張ります！ウザイくらい聞かなくてもいいかもしれませんがよろしくお願いします。



### 杉浦 京平 (スギウ キョウヘイ)

あだ名「キョウヘイ」

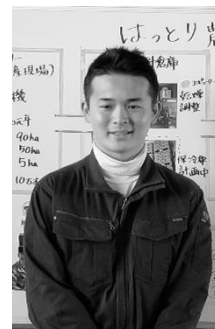
豊橋市出身

中学時代は相撲部です。

今年の目標

「気持ちのいい挨拶をする」

僕は恥ずかしがりやですが、みなさんとコミュニケーションをとって頑張ります！目をみて大きな声であいさつします。よろしくお願いします。



# はっとい農「縁」<sup>えん</sup>

年が明けると展示会の季節です。1月から3月は東京、大阪、名古屋とアチコチに顔を出させて頂きました。「私たちが育てた米を私たちの言葉でお客様にお届けしたい」と直接販売を始め5年が過ぎました。今年も飲食店さん、米粉のパン屋さん、小売店さん、ホテルさんなどなど…。

たくさんのご縁をいただいた展示会でした。展示会では今年作付けする31年産米のお取り引き

について「オーダーメイドで米づくりします！」とうたっています。お相手様の用途に合わせて欲しい品種を作りますよ、という訳です。種子選定、稲苗生産、米づくり、乾燥調製から精米まで、農家が直接設備を持ち一貫して行うからこそできる事ですね。今年のご縁あって「恋の予感」というお米も作ります。(笑) どんなお味がするのでしょうか…。たのしみ。たのしみ。



## ヤスくん卒業おめでとう

アルバイトのヤスくんが高校を卒業しました。高校1年の夏休みにアルバイトを始めて3年間。一宮市から片道40分をかけ、自転車をモリこぎ通ってくれました。最初はオッチより背が低かったのに、いつのまにかオッチ越え、いつのまにか彼女もでき(ある意味、近ちゃん越え)、すっかり男っぽくなったヤスくんです。春からは岡崎の県立農業高等学校の学生になります。農業の道に進む若者がまた一人増えました。



## 編集日記

ふたりの新入社員を迎え総勢20名の大所帯となった服部農園。今、農園の姿は私たち夫婦が10年前に描いたものを超えましたが、私たちには今も昔と変わらない想いがあります。

「ここで働いてよかった」と思ってもらえる農園を作りたい。農園に残る子、卒業して別の道を生きる子、それぞれの人生があるだろう。長い人生の中で、いい時、悪い時が訪れ、試されることもあるだろう。いい時は自分の力で、溢れる思いで進めばいい。うまくいかず、もうダメだと投げ出したくなる事もあるだろう。

そんな時こそ、私達の事を思い出してほしい。

「あの時」頑張った記憶が、「あの時」仲間が傍にいてくれた記憶が胸の中に刻まれるような日々を重ねていく家族のような私たちでいたい。農園メンバーひとりひとりに時には鬱陶しい存在の大将と女将かもしれませんが、いい人生を送ってほしいと願っています。

女将より

【私たちのミッション】 10年後、100年後、この町にこの景色を残したい

私達は環境に配慮した循環型農業への取組みと、次世代を担う農業者の育成に力を入れている農園です。

服部農園有限会社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪3-158

TEL:0587-81-6688 / FAX:0587-94-1020 / Facebook 毎日更新中/http://www.hattorinouen.com

このお便りは服部農園でお米を買って下さっている方、農地のご地主様を含め、ご縁のある方に発行しております。「次回からは不要だよ」という方はお手数ですが、メールかFAXにてお名前をご記入の上、ご一報願います。